



かどわきっ子

6年生を送る会

明後日からは、いよいよ3月。今年度も、最後の1か月となりました。25日(火)は「6年生を送る会」を実施し、6年生へ卒業のお祝いとこれまでの感謝の気持ちを伝えました。

先日6年生と話していると、「この学年でよかったあ」と言っていました。6年間の充実感と、学級内での安心感から出た一言だと思い、とても嬉しくなりました。

6年生が登校するのは、残り13日です。卒業までの日々を、更に楽しく充実したものにしたいと願っています。

学校支援会議

先週18日(火)は、4～6年生の最後の授業参観と学級部会が行われました。たくさんの御参観ありがとうございました。

学級部会をしていた時間帯には、今年度2回目の「学校支援会議」を開きました。1回目は、6月の「かどわきっ子の心を見つめる教育週間」に開いています。この会は、「学校・家庭・地域」が一体となって三者が有する教育力を結集して将来にわたって大野木場小学校を支援し、心身ともに豊かでたくましい健全な子どもを育てるための活動を推進する。(会則より)ことを目的としています。

今年度の子育て共有目標は、「自分から進んであいさつします」でした。お子様の挨拶はいかがでしょうか。家庭内での挨拶はいかがでしょうか。挨拶については、これまでも何度か学校だよりでもお伝えしてきました。

(No.4 5/17号より)

「挨拶」は、感謝の心を育てます。

「おはようございます。」には、「今日も一日よろしく願います。」という心が入っています。「さようなら。」には、「今日一日楽しく過ごせました。ありがとう。」という感謝の心が入っています。

1年後…学校・学級で朝の挨拶ができる

2年後…家庭・集合場所で挨拶ができる

3年後…地域で挨拶ができる

学校・学級での朝の挨拶は、ずいぶんとよくなりました。来年度の目標は、「家庭・集合場所で挨拶ができる」です。かどわきっ子の「やさしく」のアップのために、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいけたらと思います。

ちょっとフレイク

私が、今一番見たい映画に、「小学校～それは小さな社会～」というものがあります。みなさん御存知でしょうか。東京の公立小学校を舞台にしたドキュメンタリー映画で、それが海外で大きな反響を呼んでおり、短縮版が今年のアカデミー賞の短編ドキュメンタリー部門にノミネートされています。残念ながら県内では上映されていません。

日本人には、なぜ「協力や思いやりの心」が育つのかということ、日常の当番活動や学校行事にスポットを当てて、個人の責任や力を合わせて得る達成感などから、海外とは違う日本の教育のよさを伝えています。

私たちが当たり前だと思っていることが、海外からは称賛を浴びる。エジプトでは、日本式の教育が導入されているそうです。日本の教育・子育てのよさを感じるとともに、心が引き締められました。

3月のおもな行事

3日(月) 面談週間～7日

1～3年授業参観・学級部会
PTA評議員会

4日(火) 短縮授業～7日

11日(火) 深江中学校卒業式

13日(木) 卒業式予行演習

18日(火) 第78回卒業証書授与式

24日(月) 修了式、離任式